

秋田北中 「粒大きく やわらか」 給食にサキホコレ



サキホコレを口に運ぶ秋田北中の生徒

県のブランド米「サキホコレ」を使った給食が21日、秋田市下新城の秋田北中学校で提供され、全校生徒約184人が炊きたての白米を味わった。

生徒は、アジの磯辺フライや、豆腐と小松菜のみそ汁などとともにサキホコレを味わい「ふっくらしている」「甘みがある」などと感想を語りながら給食を楽しんだ。おかずと交互に勢いよく口に運ぶ生徒もいた。

1年の鈴木悠真さん（13）は「一つ一つの粒が大きい。食感が良くてやわらかかった」と話した。

サキホコレの給食での提供は、若い世代に愛着を持ってもらおうと、県が2021年度に始めた。本年度は19～22日に県内の小中学校や義務教育、特別支援学校、給食を実施している高校の計284校に6万3500食を提供した。（小野祐一）

（令和6年11月24日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）